

有限会社マモル商運

令和3年度環境経営レポート (対象期間：令和3年4月～令和4年3月)



作成日： 令和4年6月18日

更新日：

目次

I 環境経営方針

II 組織の概要

III 環境目標とその実績

IV 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

V 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

VI 代表者による全体評価と見直しの結果

VII 産業廃棄物処理組織の概要

I. 環境経営方針

1. 環境理念

有限会社マモル商運は、深刻化する地球環境問題への取り組みが最重要課題であると認識し、廃棄物処理事業を通じ全社一丸となって循環型社会形成へ積極的に取り組み、SDGs（持続可能な開発目標）の実現に向け、循環資源の有効利用及び環境負荷低減を図り、環境保全活動の継続的改善に取り組みます。

2. 行動指針

事業活動に関連する環境関連法規等を遵守し、環境経営の継続的改善を誓います。また、環境理念に基づき、廃棄物処理事業活動や廃棄物による環境負荷を低減するため、省資源・省エネルギー・公害防止活動を推進することで環境保全に努め、国・地方公共団体の政策に協力し、廃棄物の適正処理や再資源化、排出事業者への情報提供等の啓蒙活動に努めます。

そのため、次のことに取り組みます。

- ① 収集運搬車両の点検整備・エコドライブを実践し、省エネと排ガスの抑制に取り組みます。
- ② 電力・燃料等の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減に努めます。
- ③ 廃棄物分別による発生抑制（減量）、再利用及び再資源化の3R活動を推進します。
- ④ 水資源の有効活用と節水に取り組みます。
- ⑤ 受託した廃棄物処理において環境配慮に努めるとともに、排出者への情報提供、分別排出の指導等に努めます。
- ⑥ 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。
- ⑦ 人材育成・社員教育の充実と、職場環境の改善に努めます。
- ⑧ 環境経営レポートとして環境活動の取り組みを公表します。

制定日：平成28年 9月 1日

改訂日：令和 4年 5月 2日（第四版）

有限会社マモル商運 代表取締役 **守田 功**

II. 組織の概要

1. 名称及び代表者名

有限会社マモル商運 代表取締役 守田 功

2. 所在地

本社 (床面積 118㎡)	〒039-1103 青森県八戸市大字長苗代字幕ノ内10番地5
	TEL 0178-28-8510 FAX 0178-20-3202
	URL:http://mamoru.eco.coocan.jp/
尻内事業所 (床面積 143㎡)	〒039-1101 青森県八戸市尻内町下毛合清水5-1
	TEL 0178-28-8510 FAX 0178-20-3202
尻内事業所内施設 車両整備工場 (床面積 49.68㎡)	〒039-1101 青森県八戸市尻内町下毛合清水5-85
五戸営業所(無人) (床面積 9.9㎡)	〒039-1502 青森県三戸郡五戸町大字切谷内字新助沢8-1
	TEL 0178-23-4834
南部営業所(無人) (床面積 6.6㎡)	〒039-0613 青森県三戸郡南部町大字森越字館野5
	TEL 080-6015-8953

3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

環境管理責任者 業務部長 豊川 清則

担当者 取締役 守田 恵

連絡先 TEL 0178-28-8510

FAX 0178-20-3202

4. 事業活動の内容

一般廃棄物収集運搬業	青森県八戸市、階上町、南部町、十和田地域広域事務組合(十和田市、六戸町、おいらせ町、五戸町、新郷村)
産業廃棄物収集運搬業	青森県
特別管理産業廃棄物収集運搬業	青森県
産業廃棄物処分業	八戸市

5. 事業の規模

売上高	(令和3年度)	249	百万円	
従業員	(令和3年4月1日現在)	21	名	
延床面積	本社	118	㎡	
	尻内事業所	143	㎡	
	作業場(車両整備工場)	49.68	㎡	
運搬量	一般廃棄物	6,361.31	t/年	
	産業廃棄物	1,075.18	t/年	
	特別管理産業廃棄物	5.33	t/年	運搬量合計7,441.82 t/年
処分量	産業廃棄物	32.93	t/年	

6. 対象範囲(認証・登録範囲)

有限会社マモル商運のすべての組織及び事業活動を対象とします。

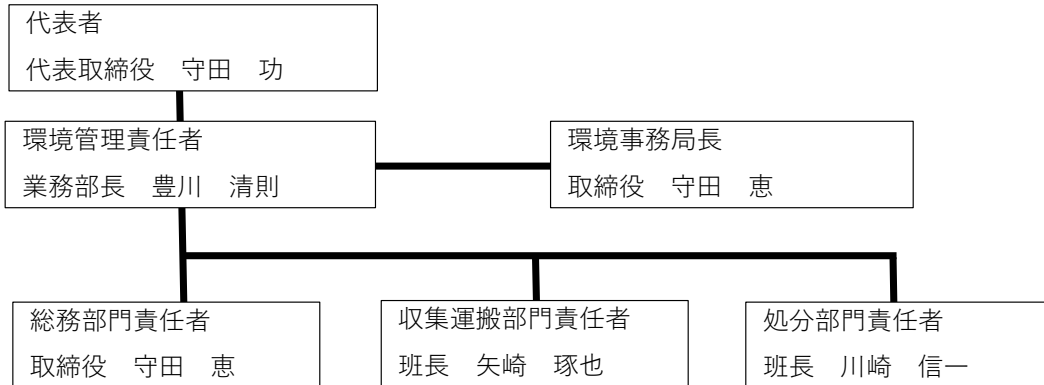
7. 事業年度

毎年1月1日から翌年10月31日

8. 環境活動レポートの対象期間（発行日）

令和3年4月1日から令和4年3月31日

9. EA2I体制図



環境経営システム 役割・責任・権限表

	役割・責任・権限
代表者（社長） 守田 功	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システム運用及び維持に必要な経営資源の準備 ・各部門責任者の任命 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定、見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標、環境経営計画書を承認 ・代表者による全体の評価と見直しの実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者 業務部長 豊川 清則	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築、実施、管理 ・環境関連法規等の取りまとめ表を確認 ・環境経営目標、環境経営計画書を確認 ・環境経営の取組状況を代表者への報告 ・環境経営レポートの確認
環境事務局 取締役 守田 恵	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐、EA2I推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 ・環境関連法規等の取りまとめ表の作成及び最新版管理 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境活動の実績集計 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口。 ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門責任者 矢崎 琢也 川崎 信一	<ul style="list-style-type: none"> ・担当部門について環境経営システムを実施し、維持する ・省資源、省エネ、節水等の奨励・実施 ・従業員に対する教育訓練の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

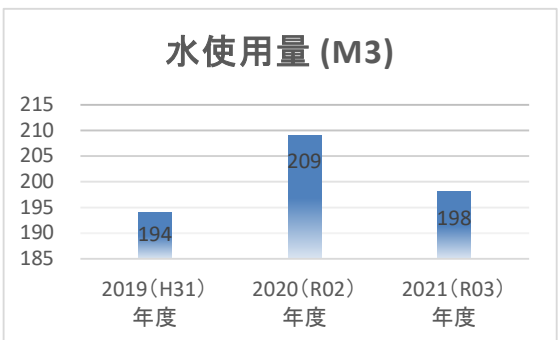
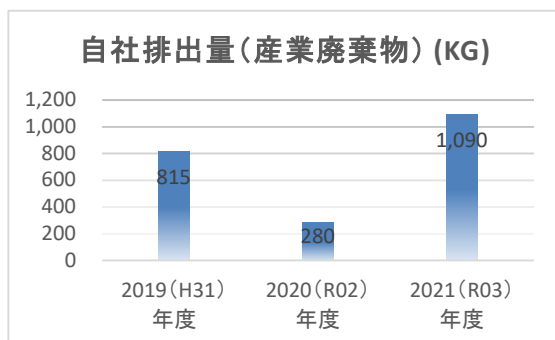
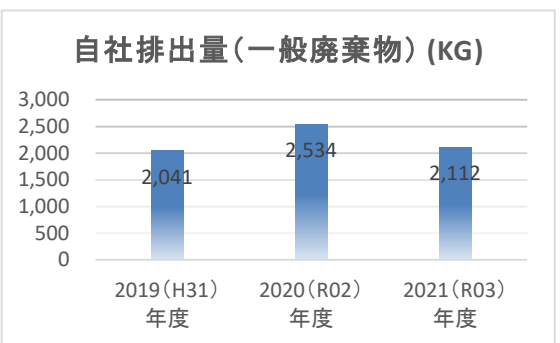
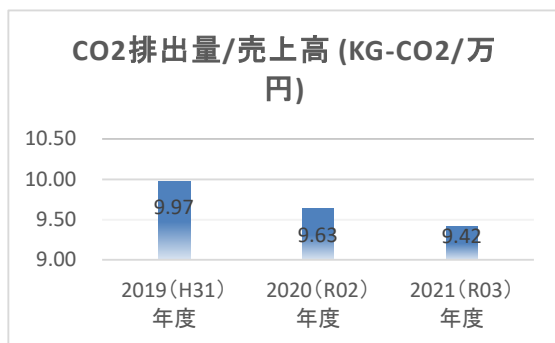
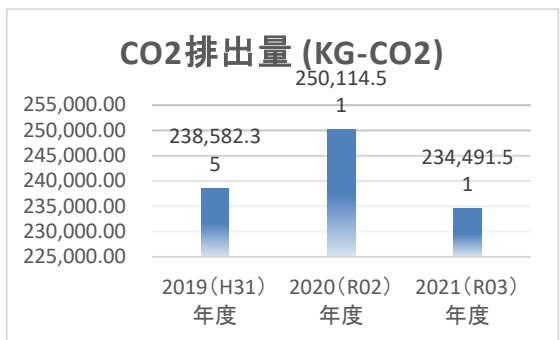
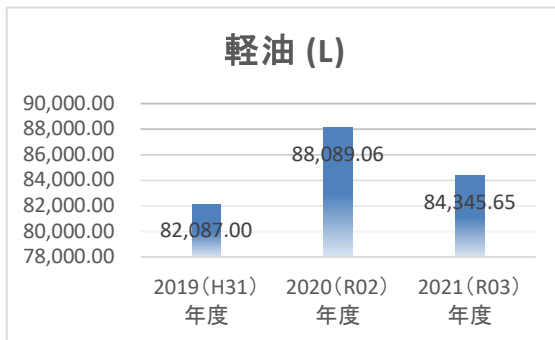
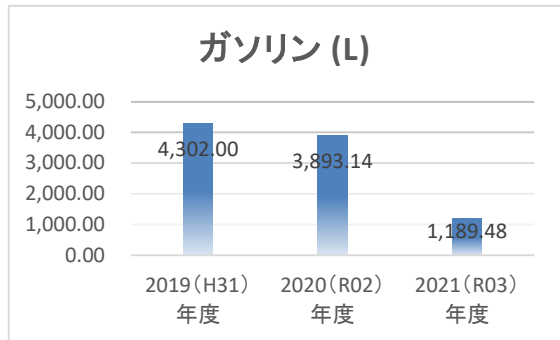
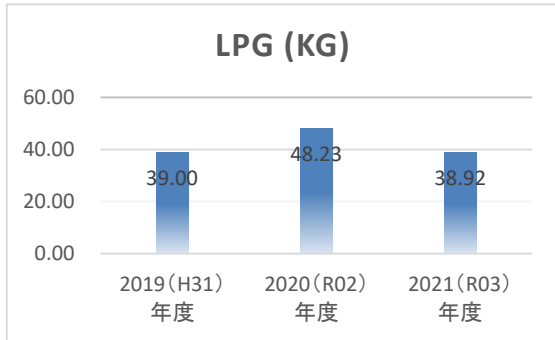
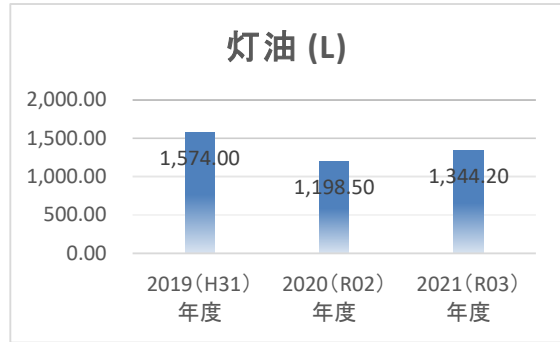
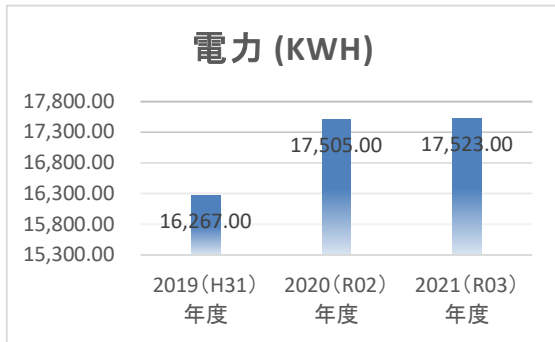
III. 環境目標とその実績

1. 環境への負荷の実績

項目	単位	2019 (H31) 年度	2020 (R02) 年度	2021 (R03) 年度
電力	(kWh)	16,267.00	17,505.00	17,523.00
	排出量(kg-CO2)	9,288.46	9,802.80	9,812.88
灯油	(L)	1,574.00	1,198.50	1,344.20
	排出量(kg-CO2)	3,922.30	2,984.27	3,347.06
LPG	(kg)	39.00	48.23	38.92
	排出量(kg-CO2)	117.08	144.69	116.75
ガソリン	(L)	4,302.00	3,893.14	1,189.48
	排出量(kg-CO2)	9,987.78	9,032.08	2,759.59
軽油	(L)	82,087.00	88,089.06	84,345.65
	排出量(kg-CO2)	215,266.74	228,150.67	218,455.23
CO2排出量	(kg-CO2)	238,582.35	250,114.51	234,491.51
売上高	万円	23,926.92	25,965.64	24,892.72
CO2排出量/売上高	(kg-CO2/万円)	9.97	9.63	9.42
自社排出量 (一般廃棄物)	(kg)	2,041	2,534	2,112
自社排出量 (産業廃棄物)	(kg)	815	280	1,090
水使用量	(m3)	194	209	198

※2019(H31)年度の電力の二酸化炭素排出係数について、東北電力㈱2015(H27)年度公表の「0.571」を用いて算定

※2020(R02)～2021(R03)年度の電力の二酸化炭素排出係数について、2019(R1)年度実績 KDDI㈱「0.560」を用いて算定



2. 環境目標の設定（2019～2021年度）

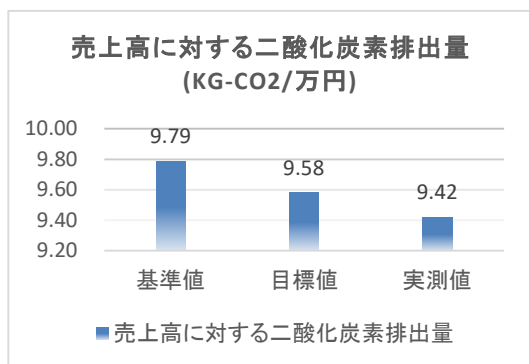
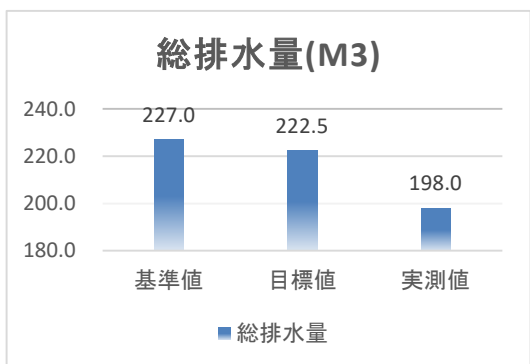
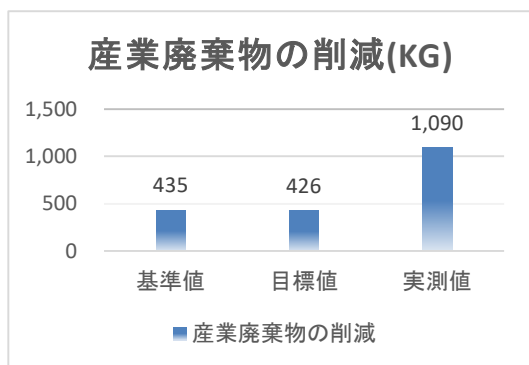
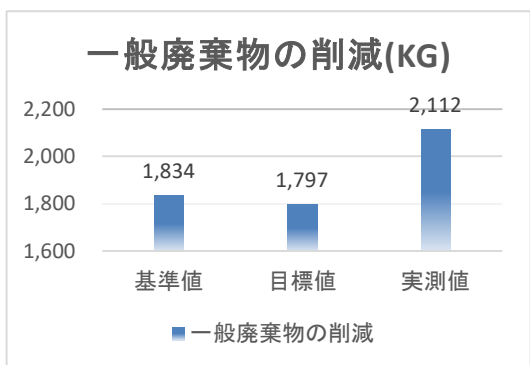
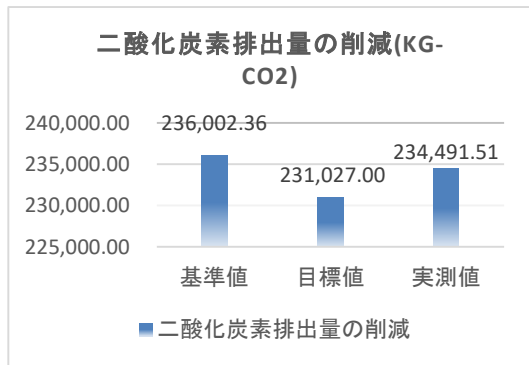
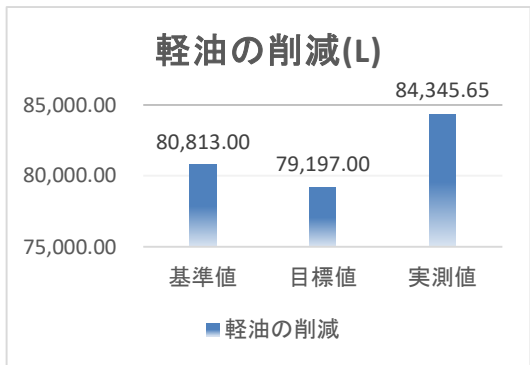
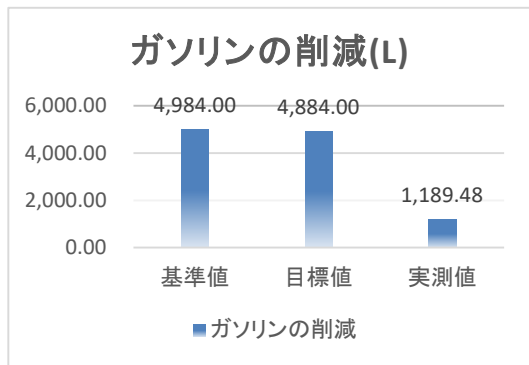
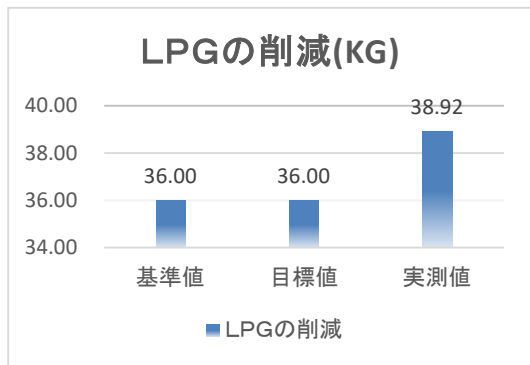
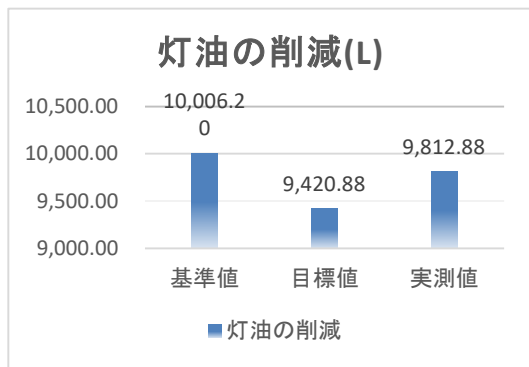
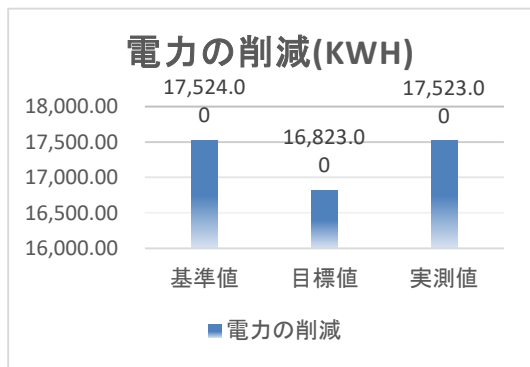
コア指標	環境方針	環境目標	削減率又は増加率 (%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加))			中長期の 目標
			単位	基準値	2019 (H31)	2020 (R2) 年度	2021 (R3) 年度	2019年度～ 2021年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	2	3	4	4
			k w h	17,524	17,174	16,998	16,823	16,823
		灯油の削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	1	2	2
			L	875	866	866	857	857
		L P Gの削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	1	1	1
			kg	36	36	36	36	36
		ガソリンの削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	1	2	2
	L		4,984	4,934	4,934	4,884	4,884	
	軽油の削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	1	2	2	
L		80,813	80,005	80,005	79,197	79,197		
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	-	-	-	-
			kg C O ₂	236,002	233,486	233,387	231,027	231,027
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	2	2	2
			kg	1,834	1,816	1,797	1,797	1,797
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	2	2	2
			kg	435	431	426	426	426
総排水量	節水	節水	削減率 (%)	2018(H30)年度	1	1	2	2
			m ³	227.0	224.7	224.7	222.5	222.5
化学物質		化学物質の管理推進	削減率 (%)	2018(H30)年度	化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的に確認します。			左に同じ
			kg	0				
グリーン購入	グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品等の使用を推進		2018(H30)年度	5	6	7	7
			品目数	19	20	21	21	21
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		産業廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮	増加率 (%)	2018(H30)年度	産業廃棄物の収集運搬に当たっては、環境に配慮した作業を推進するよう適切に管理し、定期的に確認します。			左に同じ
			件数	-				
		売上高に対する二酸化炭素排出量	削減率 (%)	2018(H30)年度	-	-	-	-
			(kg-co2/百万円)	9.79	9.68	9.68	9.58	9.58
地域貢献	地域貢献活動の推進	慈善活動・環境教育・清掃活動等	増加率 (%)	2018(H30)年度	2	3	4	4
			件数	4	4	4	4	4

※上記電力の二酸化炭素排出係数について、東北電力(株)2015(H27)年度公表の「0.571」を用いて算定

3. 環境目標の実績

コア指標	環境方針	環境目標項目	単位	2018(H30)	2021 (R3) 年度			
			単位	基準値	目標値	削減(増加)率	実測値	達成状況
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	k w h	17,524.00	16,823.00	-4%	17,523.00	×
			排出量(kg-CO2)	10,006.20	9,420.88		9,812.88	
		灯油の削減	L	875.00	857.00	-2%	1,344.20	×
			排出量(kg-CO2)	2,179.94	2,133.93		3,347.06	
		L P Gの削減	kg	36.00	36.00	-1%	38.92	×
			排出量(kg-CO2)	165.11	108.00		116.75	
		ガソリンの削減	L	4,984.00	4,884.00	-2%	1,189.48	○
	排出量(kg-CO2)		11,570.50	11,330.88		2,759.59		
軽油の削減	L	80,813.00	79,197.00	-2%	84,345.65	×		
	排出量(kg-CO2)	212,080.60	205,120.23		218,455.23			
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO2	236,002.36	231,027.00		234,491.51	×
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	kg	1,834	1,797	-2%	2,112	×
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	kg	435	426	-2%	1,090	×
総排水量	節水	節水	m ³	227.0	222.5	-2%	198.0	○
化学物質	使用量の削減	化学物質の管理推進	kg	0	化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的を確認します。			左に同じ
グリーン購入	グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品等の使用を	品目数	19	21	7%	41	○
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		産業廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮	件数		産業廃棄物の収集運搬に当たっては、環境に配慮した作業を推進するよう適切に管理し、定期的を確認します。			左に同じ
		売上高に対する二酸化炭素排出量	(kg-co2/万円)	9.79	9.58	-	9.42	○
地域貢献	地域貢献活動の推進	慈善活動・環境教育・清掃活動等	件数	4	4	4%	1	×

※上記電力の基準値及び目標値 二酸化炭素排出係数について、東北電力(株)2015(H27)年度公表の「0.571」を用いて算定
 ※上記電力の実測値 二酸化炭素排出係数について、2019(R1)年度実績 KDDI(株)「0.560」を用いて算定



IV. 環境活動計画、取組結果とその評価、次年度の取組内容

環境活動計画については、単年度の環境目標に対応した具体的な取組の内容（達成手段）を表4の通り作成しました。
 なお、それぞれの計画の責任者と担当者及びスケジュールを定め確実な実行に努めております。

表4 主な環境活動計画の内容

環境方針	環境目標項目	取組内容	実施状況の評価	取組み結果	次年度の取組内容
二酸化炭素排出量削減	購入電力の削減	事務室、工場などの照明は、昼休み、残業時など、不必要な時は消灯している	△	不要照明の消灯・業務機器の省電力設定・休日等の電源OFF等は図られている。 空調機器の適切な温度管理やLED照明への切り替えが不十分である。	空調温度管理や冷暖房使用の工夫、LED照明の推進によって電力削減に継続して取り組む。 エネルギー使用量目標値 売上高（万円）の0.65～0.7
		ロッカー室や倉庫、使用頻度が低いトイレなど、照明は普段は消灯し、使用時のみ点灯している			
		パソコン、コピー機などのOA機器は、省電力設定にしている			
		夜間、休日は、パソコン、プリンターなどの主電源を切っている			
		空調の過温化（冷房28℃程度、暖房20℃程度）を徹底している			
		使用していない部屋の空調を停止している			
		ブラインドやカーテンの利用などにより、熱の出入りを調節している			
		夏季における軽装（クールビズ）、冬季における重ね着（ウォームビズ）など服装の工夫をして、冷暖房の使用を抑えている			
		照明器具については、定期的な清掃、交換を行うなど、適正に管理している			
		共用のコンピューターなどの電源については、管理担当者や使用上のルールを決めるなど、適正に管理している			
		LED照明を採用している			
		複層ガラス、二重サッシなどを採用し、建物の断熱性能を向上させている			
		コピー機、パソコン、プリンターなどのOA機器については、エネルギー効率の高い機器を導入している			
		負荷の変動が予想される動力機器において、回転数制御が可能なインバーターを採用している			
		車両用燃料等の削減			
エコドライブなど運転方法の配慮（急発進・急加速や空ぶかしの排除、駐車中のエンジン停止など）を励行している					
デジタル式運行記録計、ドライブレコーダーなどエコドライブ関連機器を導入している					
タイヤの空気圧を定期的に確認し、適正值（メーカー指定の空気圧）を保つようにしている					
排気ガスや騒音のレベルを抑えるため適正な車検整備を行っている					
定期点検を着実に実施している					
灯油・LPG等の削減	灯油・LPG等の削減	空調が必要な区域や時間に限定して使用している	△	取組内容のとおり履行されているが、昨年の気温変化に同調して灯油及びLPGの使用量は増加した。	適切な空調温度管理に努める。 エネルギー使用量目標値 ・灯油 売上高（万円）の0.03～0.05 ・液化ガス 売上高（万円）の0.001～0.002
		空調機のフィルターの定期的な清掃・交換など、適正に管理している			
		冬季以外は給湯を停止している			
廃棄物の発生抑制	廃棄物の発生抑制	使い捨て製品（紙コップ、使い捨て容器入りの弁当など）の使用や購入を抑制している	×	分別廃棄の徹底等、取組み内容のとおり履行されたが、使い捨て製品（ペーパータオル等）の使用量が増えた。	年間を通して衛生面を考慮しながらも、使い捨て製品の使用抑制に努力する。なるべく詰め替え製品を利用する等の工夫する。 産業廃棄物では50kg/月の削減を目標とする。
		リターナブル容器（ビール瓶、一升瓶など）に入った製品を優先的に購入し、使用している			
		再使用又はリサイクルしやすい製品を優先的に購入し、使用している			
		詰め替え可能な製品の利用や備品の修理などにより、製品などの長期使用を進めている			
		コピー機、パソコン、プリンターなどについて、リサイクルしやすい素材を使用した製品を購入している			
		商品の購入時には、簡易包装のものを優先的に購入している			
		OA機器などの故障時には、修理可能かどうかをチェックし、可能な限り修理することで長期使用に努めている			
		3S（整理・整頓・清掃）活動を実施している			
		廃棄物処理方法の変更をしたり、分別廃棄の徹底を行い、廃棄物を資源化できるようにしている			

一 削 減	リサイクル の促進	紙、金属缶、ガラスびん、プラスチック、電池などについて、分別回収ボックスの適正配置などにより、ごみの分別を徹底している	×	取組内容の通り履行されているが、機密書類廃棄量は増加した。	リサイクルに対する理解度を一層向上させ、シュレッダー後のリサイクル取り組みを強化する。一般廃棄物では20kg/月の削減を目標とする。
		シュレッダーの使用を機密文書などに限り、シュレッダー処理紙のリサイクルに努めている			
コピー機、プリンターのトナーカートリッジの回収ルートを確認し、リサイクルを図っている					
発生したごみは可能な限り、圧縮などを行い、減容している					
適切なリサイクル業者を特定・選定している					
産業廃棄物 等の適正処理	処理の結果発生した中間処理後廃棄物は、リサイクルを行うことができる業者に契約している	○	取組内容のとおり履行されている。	次年度も法規に対する理解度を一層向上させる。	
総 排 水 量 の 削 減	使用水の削 減	節水呼びかけの表示をしている	○	取組内容のとおり履行されている。	次年度も取組みを継続する。
		手洗い時、洗い物においては、日常的に節水を励行している			
		社用車の洗車を必要最小限に留め、洗車する場合は節水を励行している			
		水道配管からの漏水を定期的に点検している			
		ホースに手元バルブを取り付けて流し放しを防いでいる			
		雨水を地下浸透させる設備（浸透升など）を導入している			
	排水処理、 水質汚濁等 の防止	排水への有害物質や有機汚濁物質の混入をできるだけ少なくしている	○	取組内容のとおり履行されている。	次年度も取組みを継続する。
		油水分離槽を設置し、油の分離・回収に努めている			
		年に数回程度油水分離槽の清掃を定期的に行い、油の流出防止に努めている			
	化学物質使用量の抑制及び管理	屋外での除草剤、殺虫剤の使用の削減に取り組んでいる	○	取組内容のとおり履行されている。	次年度も取組みを継続する。
危険物に該当しない消毒剤を使用している					
グリーン購入	環境に配慮 した物品等 の購入、使用等	コピー用紙、伝票、事務用箋、パンフレット、トイレトペーパー、名刺などの紙について、再生紙又は未利用繊維への転換を図っている	○	グリーン購入に関する手順書を作成し、環境に配慮した物品等の購入に努めている。	次年度も取組みを継続する。
		環境に配慮した物品などの調達に関する方針、基準などを作成し、それらに基づき物品リストを作成し、リストに基づき購入を行っている			
		環境ラベル認定など製品を優先的に購入している			
		省エネルギー基準適合製品を購入している			
		再生材料から作られた製品を優先的に購入、使用している			
		間伐材、未利用資源などを利用した製品を積極的に購入、使用している			
		無漂白製品（衣料品など）、水性塗料などの環境への負荷の少ない製品を優先的に購入、使用している			
社用車について、ハイブリッド車や低燃費車、低排出ガス認定車、電気自動車、天然ガス自動車などの低公害車への切替えに取り組んでいる（再掲）					
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮に関する項目	収集運搬車両の購入の際、排ガスのレベル、燃費、リサイクル素材の使用などを考慮している	○	取組内容のとおり履行され、受託した産業廃棄物の計測・搬入管理によってリサイクル率の可視化が図られ、意識向上につながっている。	次年度も取組みを継続する。	
	最新の排ガス規制や騒音規制に適合した車両への代替を進めている				
	収集運搬取扱量の平準化を行っている				
	運搬経路を選択する際に、幅員、渋滞などの道路条件を考慮している				
	排出事業者の排出状況や運搬先の処理施設などの状況を把握し、適切な収集運搬計画を立てている				
	廃棄物の種類、性状、排出量を把握し、適切な収集運搬機材の選出などを行っている				
	受託した産業廃棄物の計測管理、搬入管理を行っている				
	施設・設備の運転管理及び維持管理について、会社独自の体制などを設けて実施している				
	事故防止及び事故発生時における対応マニュアルを作成するなど、必要な体制の整備を図っている				
・環境コミュニケーション ・社会貢献 ・その他	ウェブサイト上で環境に関する情報を提供する等、消費者などに対して情報提供や啓発活動を行っている	○	取組内容のとおり履行されている。	次年度もホームページ等で廃棄物適正処理等の情報発信を一層推進する。	
	事業活動に伴う重要な環境負荷、環境に関する主要な目標、環境担当者の連絡先などを公表している				
	外部からの情報提供、公表の依頼に対する窓口を置いている				
	意見聴取を定期的に行い、環境への取組の際に考慮している				
	外部関係者の意見を聴取する窓口を設けている				
	地域のボランティア活動などに積極的に参加し、協力や支援を行っている				

○：評価出来る、△：まずまず評価できる、×：評価できない


2022（令和4）年度以降の環境目標設定

コア指標	環境方針	環境目標	削減率又は増加率 (%)	基準年度	年度毎目標値 (基準年度に対する削減(増加))			中長期の 目標
			単位	基準値	2022 (R4) 年度	2023 (R5) 年度	2024 (R6) 年度	2019年度～ 2021年度
二酸化炭素排出量	省エネルギーの推進	電力の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	0.56	1.98	3.40	3.40
			k w h	17,523	17,425	17,176	16,927	16,927
		灯油の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	0.93	1.85	3.70	3.70
			L	1,344	1,332	1,319	1,294	1,294
		L P G の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	0.22	1.50	2.14	2.14
			kg	39	39	38	38	38
		ガソリンの削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	1.64	1.85	2.69	2.69
	L		1,189	1,170	1,167	1,158	1,158	
	軽油の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	0.25	0.54	0.84	0.84	
L		84,346	84,137	83,888	83,640	83,640		
	二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	0.28	0.63	1.01	1.01
			kg C O ₂	234,492	233,824	233,003	232,132	232,132
廃棄物排出量	一般廃棄物の削減	ごみの削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	2	3	5	5
			kg	2,112	2,070	2,049	2,006	2,006
	産業廃棄物の削減	産業廃棄物の削減	削減率 (%)	2021(R3)年度	2	3	5	5
			kg	1,090	1,068	1,057	1,036	1,036
総排水量	節水	節水	削減率 (%)	2021(R3)年度	1	1	1	1
			m ³	198.0	196.0	196.0	196.0	196.0
化学物質		化学物質の管理推進	削減率 (%)	2021(R3)年度	化学物質を使用する場合は、漏洩等が無いよう適正に管理し、定期的を確認します。			左に同じ
			kg	0				
グリーン購入	グリーン購入の推進	環境に配慮した事務用品等の使用を推進		2021(R3)年度	3	5	7	7
			品目数	41	42	43	44	44
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮		産業廃棄物の収集運搬に伴う環境配慮	増加率 (%)	2021(R3)年度	産業廃棄物の収集運搬に当たっては、環境に配慮した作業を推進するよう適切に管理し、定期的を確認します。			左に同じ
			件数	-				
		売上高に対する二酸化炭素排出量	削減率 (%)	2021(R3)年度	-	-	-	-
			(kg-co2/百万円)	9.42	9.39	9.36	9.33	9.33
地域貢献	地域貢献活動の推進	慈善活動・環境教育・清掃活動等	増加率 (%)	2021(R3)年度	50	50	50	50
			件数	1	2	2	2	2

※上記電力の二酸化炭素排出係数について、2019(R1)年度実績 KDDI(株)の「0.560」を用いて算定

環境活動の状況

日付	令和3年4月1日	件名	省エネ活動
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">    </div>			
<p>「エコドライブ10のすすめ 自分の燃費を把握しよう」</p>		<p>節電・温度管理活動</p>	<p>紙の分別・資源化活動</p>

日付	令和3年6月20日	件名	会議・朝礼
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>作業効率化活動（全体ミーティング）</p>		<p>作業効率化活動（個別ミーティング）</p>	

日付	令和3年9月18日	件名	交通事故対応訓練
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>			
<p>ケガ人誘導・搬送訓練</p>		<p>通報・事故報告訓練</p>	

V. 環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価並びに違反、訴訟等の有無

環境関連法規等について一覧表に取りまとめました。その結果、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、浄化槽法、消防法、水質汚濁防止法、八戸市廃棄物の処理及び清掃に関する条例、災害廃棄物の処理等に関する協定等の遵守状況を確認したところ違反はありませんでした。

また、青森県・八戸市等の関係当局からの違反等の指摘、住民等の外部からの苦情、訴訟等について問題ありませんでした。

法令等の名称	条項	該当する要求事項	遵守評価
法	第7条1項	一般廃棄物処理業者(収集・運搬)は市町村町の許可(更新2年)	○
	第7条第16項	帳簿を備え、一般廃棄物の処理について運搬年月日等を記載する。(省令第2条の5第1項)	○
	第12条1項	産業廃棄物収集運搬の基準(運搬車両の表示、許可証携帯他)	○
	第12条2項	産業廃棄物保管の基準(保管場所表示60*60等) *蛍光管は、「水銀含有製品産業廃棄物」の明示	○
	第12条5項	産業廃棄物処理は、許可業者に委託する。	○
	第12条7項	委託した産業廃棄物処理状況を確認するよう努める。(排出者責任)	○
	第12条の3	産業廃棄物管理票 (マニフェスト)の交付	○
	第12条の3 第7項	産業廃棄物管理票交付状況 報告(6/30まで)	○
	第12条の3 第8項	廃棄物管理票返送遅延時の 届け出(D票90日、E票180日)	○
	第12条の3 第10項	廃棄物管理票の保存(5年間)	○
	第14条1項	産業廃棄物収集運搬業の許可	○
	第14条6項	産業廃棄物処分業許可	○
	第14条の四	特別管理産業廃棄物収集運搬許可	○
	第18条	報告の徴収 一般廃棄物収集運搬実績報告書 報告の徴収 産業廃棄物処分実績報告書	○ ○
	水質汚濁防止法	第14条の二	事故時の措置(貯油施設等の設置事業者は、事故時都道府県知事への届出。)
特定家庭用機器再商品化法(家電リサイクル法)	第6条	事業者の責務(特定家庭用機器廃棄物を排出する場合は、再商品化等が確実に実施出来るように適切に引き渡す。) ・特定家庭用機器:TV・洗濯機・冷蔵庫・エアコン	-
フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律(70㏓排出抑制法)	第16条	第1種特定製品の管理者の判断基準 ・業務用冷凍、空調機器1回/3ヶ月の簡易点検 ・業務用冷凍機器7.5KW以上1回/年定期点検 ・業務用空調機器7.5kw以上 50KW未満1回/3年定期点検	-
浄化槽法	第5条	設置届出	○
	第8~10条	保守点検、清掃	○
	第11条	定期検査	○
条例	八戸地域広域市町村圏事務組合火災予防条例	第56条 指定数量未満の危険物等の貯蔵及び取扱いの届出 ・少量危険物「灯油200l以上1,000l未満」 ・指定可燃物「合成樹脂(発泡品)20㎡以上」	○
その他	災害廃棄物の処理に関する協定	-	○ ・災害時における災害ごみの収集運搬
	〃	-	○ ・大規模災害時における災害廃棄物の処理等

VI. 代表者による全体評価と見直しの結果

エコアクション21の継続的取り組み効果がみられました。今後は、社員教育の充実と職場環境の改善を進め、従業員の意欲向上と働き方改革の推進、併せて顧客の信頼性向上に努め、継続的改善に取り組むこととします。

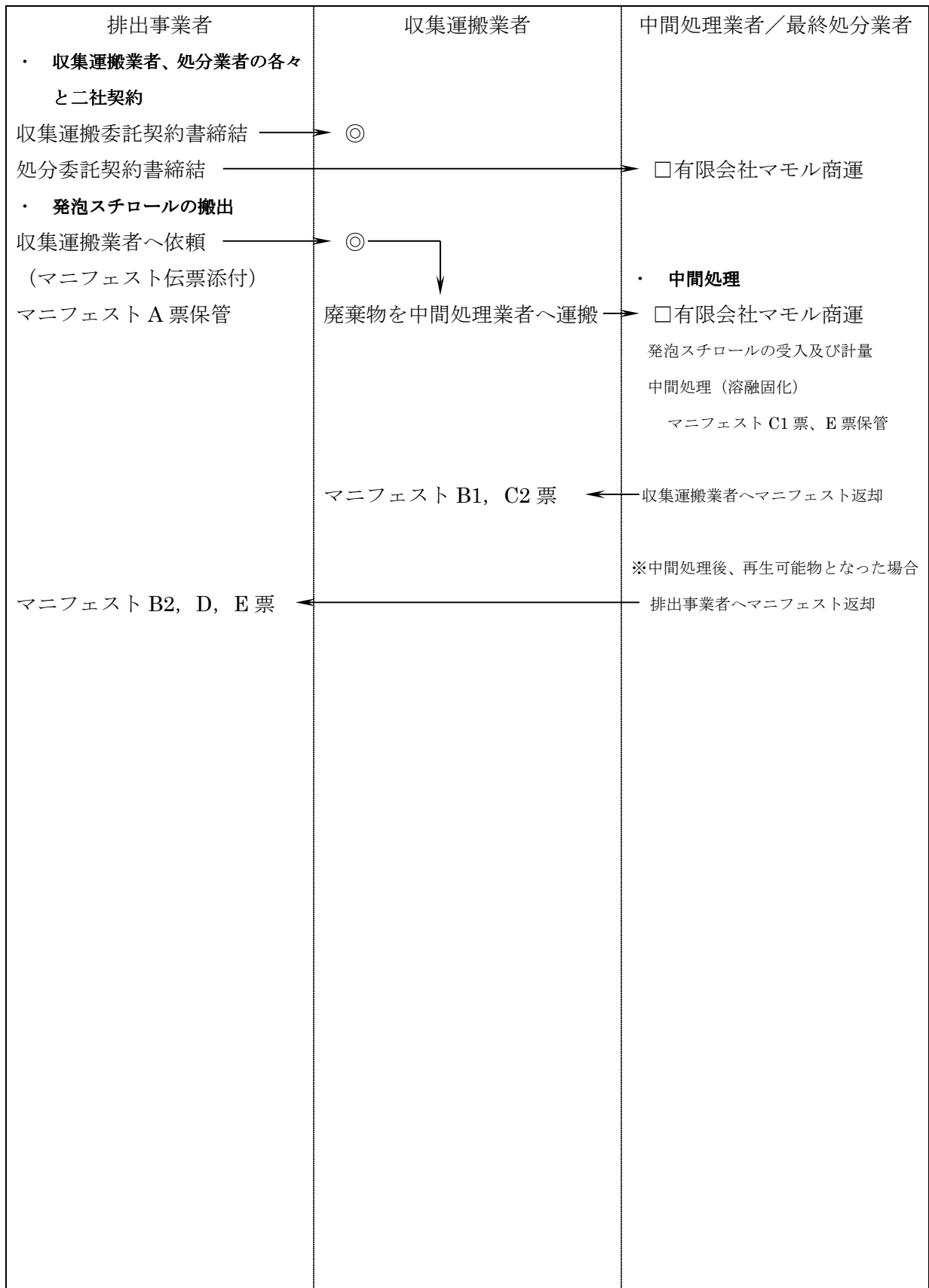
環境経営目標及び計画では、受注作業量増減の影響を加味し、売上高に対する二酸化炭素排出量は4～12月は概ね達成しました。しかし、軽油消費に伴う二酸化炭素排出量は全体の93%あり、軽油以外のエネルギー消費に伴う二酸化炭素排出量の削減は継続しながら、エコドライブの実践と低燃費車への代替を促す等、実施可能な環境経営目標及び環境経営計画に変更します。

環境経営システムの実施体制について見直すこととし、各役割を担う責任者においては、特に軽油と一般・産業廃棄物の排出量の削減目標を達成するよう努め、各部門責任者や全従業員へ取り組みの重要性を定期的（3ヶ月毎）に促し管理することとします。

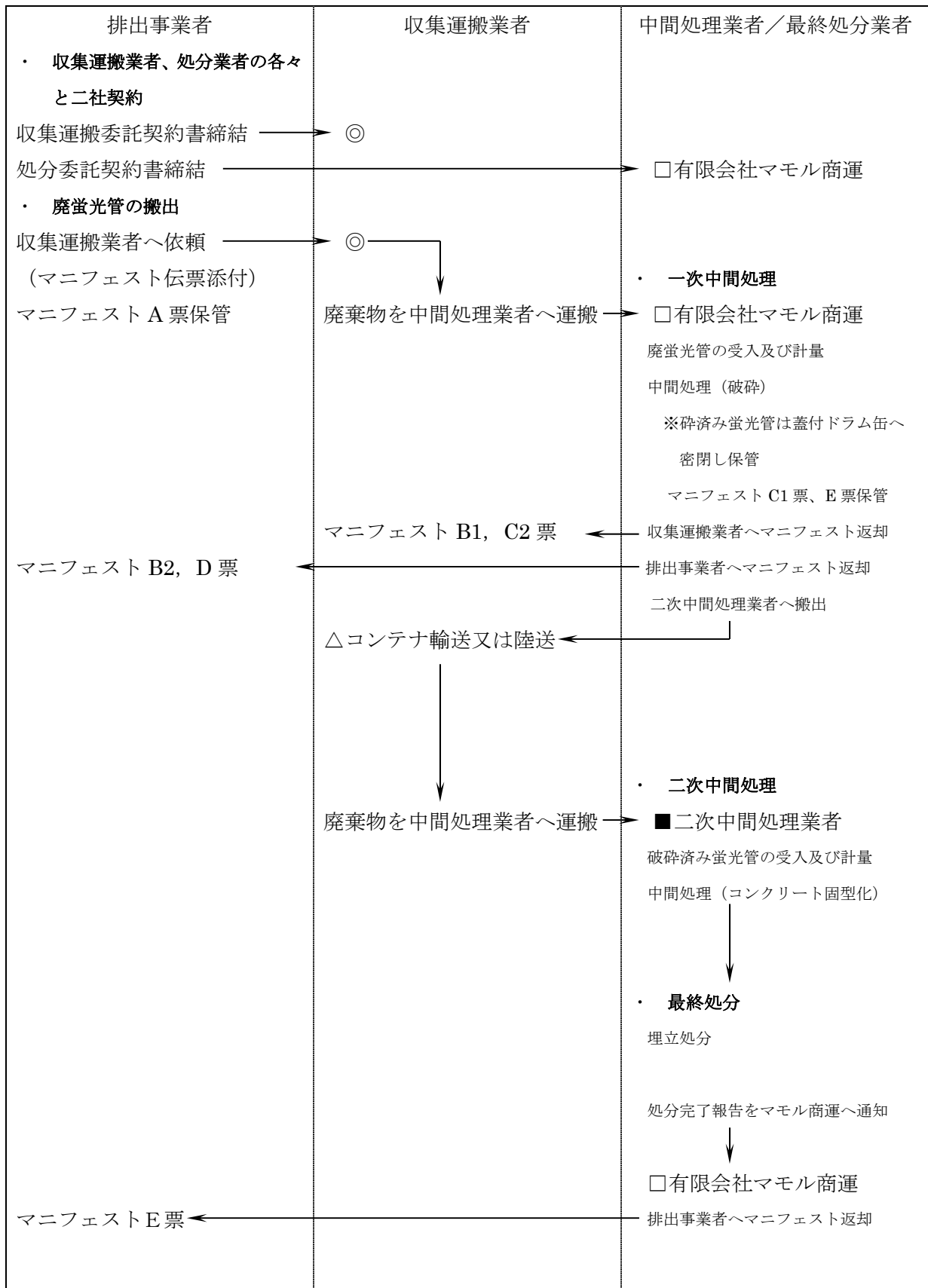
VII. 廃棄物処理に係る組織の概要

事業所名		有限会社マモル商運						
代表者名		代表取締役 守田 功						
所在地		青森県八戸市大字長苗代字幕ノ内10-5						
環境管理責任者		業務部長 豊川 清則						
エコアクション2.1担当者		取締役 守田 恵						
連絡先		電話	0178-28-8510	ファクス	0178-20-3202			
		E-mail	isao.morita@nifty.com					
		URL	http://mamoru.eco.coocan.jp/					
事業活動の内容		一般廃棄物収集運搬業 産業廃棄物収集運搬・処分業 特別管理産業廃棄物収集運搬業						
事業の規模 (令和2年度)	品名	一般廃棄物	産業廃棄物	特別管理産業廃棄物		合計		
	収集運搬量 t	6,361.31	1,075.18	5.33		7,441.82		
	処分量 t		32.93			32.93		
	製造量 t					0.00		
	最終処分量 t					0.00		
合計		6,361.31	1,108.11	5.33		7,474.75		
法人設立年月日		昭和60年7月	資本金	3	百万円	売上高	249	百万円
許可の内容	許可名/許可番号	年月日		事業計画・事業の範囲(事業区分、廃棄物の種類)				
	一般廃棄物収集運搬業 八戸市 指令第771号	許可 有効	令和4年4月1日 令和6年3月31日	一般廃棄物：可燃物・不燃物 許可区域 八戸市全域 積替え保管の有無：有				
	一般廃棄物収集運搬業 南部町 指令住第13号	許可 有効	令和4年3月14日 令和6年3月31日	一般廃棄物：可燃物・不燃物 許可区域 福地地区				
	一般廃棄物収集運搬業 南部町 指令住第12号	許可 有効	令和4年3月14日 令和6年3月31日	一般廃棄物：可燃物・不燃物 許可区域 名川・南部地区				
	一般廃棄物収集運搬業 階上町 指令第42号	許可 有効	令和4年3月11日 令和6年3月31日	一般廃棄物：可燃物・不燃物 許可区域 階上町全域				
	一般廃棄物収集運搬業 十和田地域広域事務組合指令第7号	許可 有効	令和3年4月28日 令和5年4月30日	一般廃棄物：可燃ごみ・不燃ごみ・資源ごみ・粗大ごみ 許可区域 十和田市、六戸町、おいらせ町、五戸町、新郷村				
	産業廃棄物収集運搬業 青森県 00200004634	許可 有効	令和2年7月13日 令和7年7月12日	許可品目：燃え殻 汚泥 廃油 廃酸 廃アルカリ 廃プラスチック類 紙くず 木くず 繊維くず 動植物性残さ 金属くず ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず がれき類 積替え又は保管の有無 無し				
	特別管理産業廃棄物収集運搬業 青森県 00250004634	許可 有効	平成30年7月22日 平成35年7月21日	許可品目：廃油 廃酸 廃アルカリ 感染性廃棄物 積替え又は保管の有無 無し				
	産業廃棄物処分業 八戸市 12220004634	許可 有効	平成29年11月1日 平成34年10月21日	中間処理(溶融固化) 廃プラスチック類(廃発泡スチロールに限る。) 中間処理(破碎) 廃プラスチック類 金属くず ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず(これらについて廃蛍光管及び廃HIDランプに限り、水銀使用製品産業廃棄物を含む。)				
	一般貨物自動車運送事業 東自貨第11号	許可 有効	平成21年12月2日 -	許可区域 青森県八戸市、三戸郡階上町、三戸郡南部町、十和田市、上北郡六戸町、上北郡おいらせ町、三戸郡五戸町、三戸郡新郷村				
	電子manifesto 加入者番号 2008494	許可 有効	平成20年4月1日 -	加入区分 収集運搬業者				
	電子manifesto 加入者番号 3012107	許可 有効	平成20年4月1日 -	加入区分 処分業者				
	古物商 青森県公安委員会 第201030028770	許可 有効	平成22年1月4日 -					
	設備	設備名	能力・産廃の種類	台数	設備名	能力・産廃の種類	設置年月日	
		運搬車両			産業廃棄物処理施設			
塵芥車		4 t (中型)	4	溶融固化施設	廃発泡スチロール 0.32t/日 (8時間稼働)	平成14年8月20日		
塵芥車		4 t (準中型)	9					
塵芥車		2 t ~ 3 t	2	破碎施設	直管型廃蛍光管 4.00t/日 環状管型廃蛍光管 1.76t/日 廃HIDランプ 0.80t/日	平成14年8月29日		
ダンプ		4 t	1					
ダンプ		3 t	1					
パン		3 t	1					
クレーン機能付きトラック		2 t	1					
キャブオーバー (トラック)		3 t	1					
キャブオーバー (トラック)		2 t	1					
キャブオーバー (トラック)		1.5 t	1					
脱着装置付きコンテナ専用車		4 t	3					
軽トラック		0.35 t	1					
軽ワゴン		0.35 t	1					
フォークリフト	2 t	1						
ショベルローダー	0.3 m ³	1						
合計		29						

廃発泡スチロール処理フロー



廃蛍光管・廃H I Dランプ処理フロー



受託した産業廃棄物の処理量

令和2年度

処理方法等	廃棄物等種類	処分方法等	処理量 t	
収集運搬	産業廃棄物	/		
	廃プラスチック類		686.68	
	動植物性残さ		239.22	
	木くず		33.98	
	金属くず		31.53	
	ガラス・コンクリート・陶磁器くず他		0.30	
	発泡スチロール		17.11	
	廃蛍光管・廃HIDランプ		6.00	
	廃電池		5.72	
	非感染性産業廃棄物		47.30	
	汚泥		1.32	
	廃油		0.49	
	繊維くず		5.53	
	感染性廃棄物		5.31	
	引火性廃油		0.02	
	一般廃棄物			
	可燃ごみ		3941.27	
	不燃ごみ・粗大ごみ		333.94	
資源物（紙）	1812.65			
資源物（缶・ビン・ペットボトル）	145.92			
資源物（金属）	127.53			
収集運搬量合計			7441.82	
中間処理	産業廃棄物			
	廃プラスチック類	発泡スチロール 溶融固化	15.95	
	金属くず ガラスくず	蛍光管 破碎	16.98	
うち再資源化等	廃プラスチック類	中間処理後、プラスチック原料としてリサイクル（売却）	15.95	
	再資源化等量小計		15.95	
中間処理合計			32.93	
最終処分				
最終処分量合計			0.00	
中間処理後の産業廃棄物	最終処分	金属くず ガラスくず	蛍光管 管理型埋立（委託）	16.98
	再資源化	廃プラスチック類	中間処理後、プラスチック原料としてリサイクル（売却）	15.95
		再資源化等量小計		15.95
中間処理後処分量合計			32.93	